

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 飛渡第一小学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
住所 〒949-8618 新潟県十日町市中条戊2033-1

E-mail : tobitari1-els@edu.city.tokamachi.niigata.jp

Website : <http://www.edu.city.tokamachi.niigata.jp/els/tobitari1>

児童生徒数：男子 6 名 女子 5 名 合計 12 名

児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動

生物多様性

エネルギー

防災

食育

伝統文化

そのほか（ ）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

当校は、20年以上にわたり「ふるさと環境学習」に取り組んできました。活動内容は多岐にわたります。その中からまとめて報告します。

1 飛渡川で遊ぼう

毎年7月末の日曜日に、「飛渡川で遊ぼう」の会を地域の会「濃実会」や公民館との共催で開催しています。今回で21回目です。

内容は、以下のものを行っています。

①魚のつかみどり ②生き物探し ③クリーン作戦

④川をせきとめた天然プール遊び ⑤イワナの放流

ほかにも、つかみ取りでつかまえた魚を焼いて食べたり、自分たちが収穫したジャガイモを入れた豚汁を食べたりしました。

この会を開催するにあたり、近隣の学校へポスターを届けに行き、参加を呼びかけました。過去最高の260人以上が参加しました。



<魚のつかみ取り>



<天然プール遊び>

2 EM菌でプール清掃

EM菌を米のとぎ汁で培養してプールに入れることで、プール清掃が楽にで

きると共に薬品を使わないので、で環境を害することも無いということで、毎年EM菌を使ってプール清掃をしています。培養したものは、2回プールに投入してプール清掃を迎えました。



＜米のとぎ汁にEM菌を入れ培養した物をプールに投入＞

EM菌の効果は抜群で、少人数の当校でもプール清掃は短時間でできました。

3 野菜の栽培

毎年、畑の先生から教えていただきながら、ジャガイモ、夏野菜、さつまいも、大根を育てています。苗を選んで買ったり、お世話をしたり、収穫の喜びを感じ取ったりしています。また、お世話になった方々を招いての感謝の会も行いました。



＜苗植え＞

＜感謝の会＞

感謝の会では、お世話になった方々を招いての「感謝の会」をしました。ご飯（元気パクパク飛渡米）、ポテトサラダ、具たくさんみそ汁、肉無し麻婆豆腐のこんだては、6年生がお年寄りにも喜んでもらえるように考えました。

4 米作り

田んぼの先生から教えていただきながら、毎年米作りに取り組んでいます。手で苗を植えたり、手で稲を刈ったりと手作業を大事にしました。地域の老人

会の方々からも教えていただきながらやっています。



<田植え>



<稲刈り>

田植えでは、「まっすぐに植えたで賞」「服を汚さなかったで賞」を設けたり、稲刈りでは、「束作り競争」をしたりしました。

収穫した米は、文化祭の昼食で地域の方々に振る舞ったり、地元で開催される「てづくり市」で販売したりしました。販売の際は、児童のメッセージつきのラベルを米の袋に貼り、はがきをつけて販売しました。米を食べた感想が続々と届き、「おいしかった。」「元気ががんばって。」というメッセージをいただき、次の活動のエネルギーにもなりました。

5 飛渡川にサケを呼び戻そう

5年前から、サケの卵を漁業協同組合からわけていただき、それを育てて、飛渡川に放流する活動を行っています。今年度も12月中旬に卵をゆずり受けて3月12日に放流する予定です。水温管理と水質管理に気を配り、観察記録もつけました。



<サケの卵をいただきました>



<世話の様子>

サケの飼育水槽の温度管理には、周りを発泡スチロールで囲んだり、ヒーターをつけたりしました。また、水が汚れると、近くのわき水をくみに行きまし

た。おかげで、稚魚が大きく育ちました。「4年後に帰って来てね。」と声を掛けながら放流しました。

6 伝統を受け継ぐ

地域に残されている伝統を受け継ぐ活動もやっています。

(1) 石投げおけさ・健骨体操



<石投げおけさ>



<健骨体操>

地域に伝わる「石投げおけさ」を保存会のみなさんから教えていただき、運動会や文化祭で披露しています。また、老人会の方々が健康を保つためにやっている「健骨体操」も教えてもらって文化祭で披露しています。どちらもお年寄りの方々とふれあうことができ良い活動になっています。

(2) わら細工づくり

地域の老人会の方々の指導のもと、全校児童がわら細工作りに取り組みました。一人に一人ずつ指導者がつくくらいの人数の老人会の方が来てくださって、マンツーマン指導だったので、とても立派なわら草履やわらじが完成しました。達成感いっぱいでした。



<わらじ作りの2年生>



<老人会の方>

(3) さいの神

1月半ばには、道祖神を中心にわらや木などで作った「さいの神」を燃やして無病息災を祈る行事をしています。その際に「オンビロ」というきれいな紙をさいたものを飛ばして、運を占うことも受け継いでいます。



<オンビロとばし>

燃やしたあとのすみを塗り合い、無病息災を願うということも受け継いでいます。

<すみぬり>

その他、ホテル観察会、星空観察会、ブナ林コンサート等もやっています。それらの活動を冊子にまとめたものが「飛渡のほたる」です、今年で16巻目になりました。「飛渡のほたる」には、児童や学校職員の作文だけでなく、保護者や地域の方々、公民館関係の方々からも原稿を寄せていただいています。活動の記録にもなっています。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ ）